

第2期データヘルス計画評価シート

保険 南アルプス市

【データヘルス計画全体の評価】

データヘルス計画全体の目的						計画全体の評価と今後の方向性
本市の健康課題把握や、効率的な事業の実施方法について検討し、本市の特性に合わせた保健事業の展開を進めていく。また、「健康寿命の延伸」と「医療費の適正化」を目指す。						・健康寿命について、男性は年々延びているが、女性は年により上下している。医療費は外来、入院ともに増加傾向にある。 ・特定健診受診率は、新型コロナの感染拡大により低下していたが、目標値に近い水準まで上げることができた。今後も受診率が低い年齢層を中心に対策を講じていく。 特定保健指導実施率は、健診と同様に下がったが、目標値を達成することができた。
データヘルス計画全体の評価指標	目標値 (最終評価時)	ベースライン (計画策定時)	中間実績 (R2)	最終実績 (R4)	指標判定	
健康寿命の延伸	延伸	男性：79.2歳 女性：83.5歳	男性：80.0歳 女性：83.9歳	男性：80.3歳 女性：83.8歳	B	
被保険者一人当たり医療費	減少	外来：15,928円 入院：9,505円	外来：15,907円 入院：9,342円	外来：17,857円 入院：10,252円	C	

【対策ごとの評価】

対策名	中間評価	最終評価
特定健診受診率向上対策	B	B
特定保健指導実施率向上対策	B	B
生活習慣病	B	B
糖尿病及び糖尿病性腎症重症化予防対策	C	B
医療費適正化対策	C	B

【個別保健事業ごとの評価】

対策名	事業名・評価指標	目標値 (最終評価時)	ベースライン (計画策定時)	中間実績 (R2)	最終実績 (R4)	指標判定	総合評価	考察 (評価の根拠・成果・改善策等)	
特定健診受診率向上対策	◆特定健康診査						B	・新型コロナの感染拡大により受診率が低下していたが持ち直し、目標値に迫っていた。 ・R5年度より人間ドックの受診開始を約2ヶ月早めるなど受診率向上対策を実施したため、毎年評価を実施し更なる対策を講じていきたい。	
	特定健康診査受診率	60.6%	55.1%	55.0%	57.4% (R3)	B			
	特定健診受診率向上対策	◆40～50歳代男性未受診者への受診勧奨						A	・R2年度は新型コロナの感染拡大により事業を実施しなかったものの、年々受診勧奨した者の受診率は上昇し、ほとんど目標値に達した。それに伴い、40～50歳代男性全体の受診率も上昇した。 ・毎年対象者の抽出条件を変えながら、受診勧奨を実施したが、受診歴が全くない、または過去何年も受診歴なしの方は、受診する率が低くなってしまったため、勧奨方法を検討する必要がある。
		受診勧奨した者の健診受診率	30.0%	4.2%	25.9%	29.4%	A		
		40～50歳代男性の特定健診受診率	40.0%	37.0%	37.3%	40.8%	A		
	特定健診受診率向上対策	◆かかりつけ医からの情報提供						C	・年々提供率が上昇していたが、R4年度に新型コロナの感染拡大により、実施期間が減ってしまったため、提供数(率)が下がった。 ・毎年契約されている市内の医療機関に訪問し、事業説明及び患者への案内の依頼を実施し、効果が出ている。
		かかりつけ医情報提供数(率)	35.0%	22.8%	385(31.0%)	324(26.7%)	C		
特定保健指導実施率向上対策	◆特定保健指導						B	・特定健診と同様に新型コロナの感染拡大により実施率が低下していたが持ち直し、目標値を大きく上回った。 ・健診結果改善率についても目標値を上回ったが、メタボ該当者・予備群の人が増えてしまっているため、対策の検討が必要。	
	特定保健指導実施率	63.5%	67.5%	63.9%	69.4% (R3)	A			
	翌年健診結果改善率(体重2kg減少)	20.0%	16.5%	13.7%	25.0% (R3)	A			
生活習慣病	◆健診結果説明会						B	・高血糖、高血圧ともに目標値に近い数値に達している。 ・健診機関、保健師の追跡により、細かく管理されているため、今後も継続していきたい。	
	要精検者の精検受診率(高血糖)	73.0%	57.9%	70.5%	64.6%	B			
	要精検者の精検受診率(高血圧)	58.0%	53.9%	55.8%	43.4%	B			
糖尿病重症化及び予防対策	◆糖尿病予防教室、糖尿病重症化予防教室、CKD予防教室						E	教室参加者の翌年度の結果改善や生活習慣改善は高い状況であったが、コロナで開催方法を変更し評価ができない。	
	教室参加者の健診結果改善率(HbA1c)	上昇	55.2%			E			
	教室参加者の生活習慣改善率	95.0%	76.0%	94.4%		E			
糖尿病重症化及び予防対策	◆糖尿病重症化予防個別支援事業						B	・指導実施者の医療機関受診率及び健診結果改善率は、年々上昇し、目標値に近い数値に達している。 ・市内医療機関等との連携をさらに進めていき、対象者への指導を実施していく。	
	指導実施者数(率)	100.0%	10人(100.0%)	20人(100.0%)	22人(100.0%)	A			
	指導実施者の医療機関受診率	60.6%	60.0%	50.0%	54.5%	B			
	指導実施者の健診結果改善率(HbA1c)	70.0%	47.4%	69.2%	66.7% (R3)	B			
医療費適正化対策	◆重複多受診者訪問						B	・中間評価の際に、対象者から精神疾患患者やがん患者を除くと変更したことにより、指導実施者は減ってしまったが、その方の受診状況の改善率は上昇している。	
	指導実施者数	10人	7人	4人	2人	C			
	指導実施者の受診状況改善率	50.0%	40.0%	25.0%	100.0%	A			
	◆ジェネリック医薬品の普及啓発						A	・計画的に実施できており、使用割合も目標値を上回ることができたため、継続していく。	
	差額通知の送付件数	100.0%	1,788通(100.0%)	900通(100.0%)	623通(100.0%)	A			
	ジェネリック医薬品使用割合	80.0%	68.5%	76.4%	81.5%	A			

※判定区分について

(1) 指標判定

A すでに目標を達成 B 目標は達成できていないが、達成の可能性が高い C 目標の達成は難しいが、ある程度の効果はある
 D 目標の達成は困難で、効果があるとは言えない E 評価困難

(2) 対策ごとの評価・個別保健事業ごとの評価

A 計画通りにいっている B まあまあ、計画通りにいっている C あまり計画通りにいっていない D まったく計画通りにいっていない E 評価困難